

## アンケートまとめ (27名)

各項目を読み、当てはまるものに✓を付けて下さい

### 1. あなたの職種は？

医師・教員 (10)       看護師 (4)       メディカルスタッフ (8)       事務 (4)       その他 (1)

### 2. 日常の業務中に患者さんやその家族と業務を遂行する上で、意思・意見の不一致を感じることはありますか？

ある (18)       ない (2)       日常、患者さんやその家族と接点がない (5)

△どちらともいえない (1)

### 3. 院内で取り組んでいる患者さんとその家族を含めたイベント・セミナー・サロンなどに参加されていますか？

参加している (5)       参加していない (21)

### 5. 患者スピーカーの講演について

#### ーa 講演者が“伝えたいこと”は伝わり(受け取れ)ましたか？

大沼氏  伝わった (26)       まあまあ伝わった (0)       残り伝わらなかった (0)       伝わらなかった (0)

白石氏  伝わった (26)       まあまあ伝わった (1)       残り伝わらなかった (0)       伝わらなかった (0)

#### ーb 各演者の講演内容(テーマ)についてどう思われましたか？

大沼氏  良かった (24)       まあまあ良かった (2)       残り良くなかった (0)       良くなかった (0)

白石氏  良かった (24)       まあまあ良かった (2)       残り良くなかった (0)       良くなかった (0)

患者スピーカーの講演で印象に残ったことはありますか。ありましたらご記入ください

- ある病気の“症状”として勉強する・してきたことと、患者さんの体験、本当に困っていたことが違うということを改めて確認できました。  
患者さんの思うこと、知ることの大切さを大事にしていきたい。
- 医療者が考えていることと、思っていたことを患者様側が同じように考えているとは限らない。“感じる”ことが大切。
- 患者側の気持ちは、本で読んだりしたことはあっても直接きくことは滅多にないので、どれも印象的でした。
- 自分の発する言動を患者は敏感に受け止めている。
- 実際の患者さんが医療者からの言葉をどういう気持ちで受け止めているかが聞いて良かったです。
- 親身になって関わることの大切さを学んだ。
- お二人ともとてもプレゼンテーションがお上手で心に響きました。  
元々は辛い体験や苦悩を言葉にして表現するには、勇気や折り合いが必要で、そこを超えてきていることに感動しました。
- 患者さんの立場から見た医療に対する意見を聞くことがないので、聞いて大変良かったです。

- 病気の経験をプラスに変え、伝えることで、聞く人のプラスにもなる。というお話が心に残りました。
- 患者は医療者の一言に敏感であること。
- 夕食から消灯までの患者生活（気持ちのうごき）が印象に残った。
- 小さな一言、一場面に起こる相手の心の機微があることを改めて深く考える機会を得た。
- 患者さんも、医療者からの関心を向けられることを望んでいる側面があるということに改めて気づかされた。
- なかなか時間を作れないけど、本当に必要なときは、30分でも1時間でも話を聞いてあげられる看護師になれたらいいのに。と思う。白石さんにとっては、OP前日のNsとの関わりが、その後の闘病をものすごく支えたんだと思う。
- 患者はコミュニケーション・態度から敏感に感じている。
- 一体感や肯定が患者の意欲を伸ばす。
- 職員としてマニュアル的に対応してはいけない。
- 個人を見る
- 笑顔…（マスク）
- 今の女子医大を逆に力づける内容であった。
- 素晴らしい内容であった。
- 患者は医療者の反応などを敏感に感じているということ。
- 受け入れる姿勢があることで安心が生まれる。
- 患者は敏感に感じている。
- 熟考する→不安にさせるのではなく、自分の事を考えていると感じる。
- 通院中、入院中に不安が出た時に、気持ちを穏やかにできたきっかけの言葉や対応。
- 入院中の看護師さんと世間話を含めて、心を開けたこと。  
そんな雰囲気を作れた看護師さんもすごいけど、話す勇気を持てたことがすごい。
- 患者さんは、医療者の態度で様々なことを感じている
- （患者さんが）自身のことを知ることも大切と言って頂けたこと。  
これからは、自分で自分の健康を守っていくのも大事と思っている。  
医療の提供の仕方も変わっていくと良いと思っています。
- “がんこだめ”という印象を変えるのは医療側からできること。

□患者スピーカーに語って欲しいことがありましたらご記入ください

- 医療者の対応。
- 医療業務に関わる者へ「気持ち→要望」
- 言われて傷ついた言葉とか、この言葉は、こう表現してくれた方がうれしいとか。
- 患者さん本人にとって、bad news となる情報をどのような形で伝えて欲しいか？
- ピーカーとなることでの変化や学びがどのようにあったのか？
- 病気を抱えて折り合いをつけながら、仕事など日常生活を構築していること。“自分自身にとっての人生の幸福とは？”
- コミュニケーションや態度から患者さんは、敏感に感じているので、これらを頭に入れ検査に取り組んでいきたい。
- 病院、こうしたら良くなるよ。という体験やアイデアを聞いてみたいです。
- 信頼できた医療者
- 信頼できないと思った医療者
- 何を話して欲しい、ということはない。その人が「話したかった」と思っていることをまとめたものが聞ける機会が増えれば良いと思う。
- 家族との関わり
- 具体的な体験談
- 見出したプラスについて

- 今回、good な話をして頂きましたが、bad な対応、エピソードも聴いて、今後につなげたらと思います。
- 患者としての体験
- 医療者に望むこと
- 病気を知ってからの（立ち向かう）受け入れるまでのエネルギーは何処から生まれるのか？すごいなと思いました。
- 女子医大病院への想い。
- 医療者への考え。
- 医療スタッフにされて嫌に思った事
- 印象が悪かったことや、つらい時がどんな時だったか、言いづらいことでもあると思いますが…
- どうやって治療に前向きになれたか。
- どのようなきっかけで、医療者を信頼できたか
- 医療者に対して、このような機会を増やして頂きたい。
- 医療関係者のあまり良くなかった対応。

## 6. ワールドカフェについて

### ーa ワールドカフェはいかがでしたか

- 大変良かった (24)     
 まあまあ良かった (2)     
 余り良くなかった (0)     
 良くなかった (0)

### ーb 各テーブルに患者スピーカーが同席することについて評価して下さい

- 大変良いと思う (25)     
 居ないよりは良いと思う (1)     
 余り良くない (0)     
 居ない方が良い (0)

### ーc 患者スピーカーから患者の立場で思っていること、感じていることを聞きましたか？

- 聞けた (22)     
 聞けなかった (1)

### □ 「聞けた」方は、聞けた内容について、できるだけ簡便に幾らかあげて下さい

- 医療者の「素早く」「効率よく」がちゃんと患者さんのためとして自覚できていないと、別なメッセージとして伝わってしまっていたこと
- 医療者と患者様とのコミュニケーションの大切さ。
- 社会からの反応
- 医師からの対応
- 出た意見に対して「患者はそう思っているんです」と言ってもらったこと（確認できたこと）
- 患者目線の苦しみや気付き、患者目線の鋭敏な感覚・感情
- 患者さんは、常に不安を持たれているので、安心出来るようにしたい。
- 実務に対する患者からの意見・感想を訊けた。
- 今後の実務に必ず活かす。
- 話を聞いているとき、医療者の態度を良く見ているんだなと改めて思った。改めて、医療者と患者さんの関係性の大切さに気付いた。
- いつも言っている「(体調) どうですか？」がそれだけでも“気にかけてくれていると感じる”と言っていて、逆に“ハッ”とした。大事にしないといけないと思った。
- 敏感に感じている
- 自分の事を考えてくれている、伝わっていると感じると嬉しい。
- 肯定が患者の意欲を伸ばす
- 受け入れる姿勢があることで、安心感が生まれる
- 経験からプラスを見出す

- 病院として、忙しい雰囲気にならない。→  
自分としても話をかけやすい雰囲気をつくる。
- 入院中の夕食が終わった後の時間の大切さ。
- 患者さんの気持ちを受容し、共感する大切さ。
- 病気の患者さんの立場を理解し、個人を受けとめる。
- 患者のやる気が出そうな一言で、こちら側が使いづらい一言を上手にやわらかい一言に変える提案をしてもらえました。
- マスクして声が暗いのは怖い
- 病気に対する思い。
- 患者のペースに合わせる
- 心地いい表現の大切さ。
- 患者さんの話を聞いてくれる患者相談窓口の大切さ
- 「頑張って下さい」と言われた時の気持ち
- 患者さんである方から語って頂くこと全て。
- マスクして顔が見えない分、目・声が怖い。忙しそうで声がかげにくい。(忙しそうに見える)

7. 研修全体での有意義度を評価して下さい

- |                                |                                      |                                      |  |
|--------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 大変有意義 | <input type="checkbox"/> それなりに有意義    |                                      |  |
| ( 21 )                         | ( 4 )                                |                                      |  |
|                                | <input type="checkbox"/> 余り有意義ではなかった | <input type="checkbox"/> 全く有意義ではなかった |  |
|                                | ( 0 )                                | ( 0 )                                |  |

8. 今回の研修目標到達に関わる 4 項目について、現時点での到達できる自信度を表して下さい  
研修目標「患者を知り、今の職務の可能性に気づき、業務へのモチベーションを高める」

ー1 患者の医療者に対する気持ちのあり方を知り、関わり方を見直すこと

- |                                |                                  |                                  |                                |
|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自信がある | <input type="checkbox"/> 少し自信がある | <input type="checkbox"/> 余り自信がない | <input type="checkbox"/> 自信がない |
| ( 5 )                          | ( 21 )                           | ( 0 )                            | ( 0 )                          |

ー2 患者との対話を通して、医療者への真のニーズに気づくこと

- |                                |                                  |                                  |                                |
|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自信がある | <input type="checkbox"/> 少し自信がある | <input type="checkbox"/> 余り自信がない | <input type="checkbox"/> 自信がない |
| ( 6 )                          | ( 19 )                           | ( 1 )                            | ( 0 )                          |

ー3 患者と共に内省（リフレクション）することで、自分の職務を新たな視点から省みること

- |                                |                                  |                                  |                                |
|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自信がある | <input type="checkbox"/> 少し自信がある | <input type="checkbox"/> 余り自信がない | <input type="checkbox"/> 自信がない |
| ( 10 )                         | ( 16 )                           | ( 0 )                            | ( 0 )                          |

ー4 明日から患者に対する態度・言葉等が変わり、患者から慕われる医療者になること

- |                                |                                  |                                  |                                |
|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自信がある | <input type="checkbox"/> 少し自信がある | <input type="checkbox"/> 余り自信がない | <input type="checkbox"/> 自信がない |
| ( 9 )                          | ( 16 )                           | ( 1 )                            | ( 0 )                          |

9. 研修全体を通しての感想や“気づき”のあった方は“気づき”の内容を書いて下さい

- “あたりまえのこと”と言われるものは、それだけ多くの方が困っていること、未だに解決できていない課題であることの裏返しなんだ、ということ（加藤さんありがとうございました）
- 前向きに自信が持てる！！
- 多職種で関わると楽しい、学びが多い。
- 患者さんに対して、できることはやらなければならないけれど出来ていない部分もたくさんあると気づいた。少しずつ改善していきたい。
- もっともっとより多くの職員に参加して欲しい。

- 医療の原点に立ち返る契機となった。
- 他職種の方々とディスカッションができ、とても楽しい研修でした。
- 患者さんとお話ができる機会自体が少ないので、とても貴重な体験でした。
- 患者の話をもっと聞きたいと思った。
- 元気、笑顔 ) 何をするにも基本。大事だと思った。
- 患者は敏感に感じている。
- 言葉。態度を患者の身になって。
- 患者さんの生の声が聞けて良かったです。
- 沢山いる一人の患者ではなく、個人の患者さんとして個を尊重し受容することと、人としても相互に信頼し合えるようにコミュニケーションを構築することが大切と思います。
- 患者さん一人一人に背景があり、相手を理解する上で、重要な事だと思いました。
- 看護は業務だけではない。  
人と心を通じ合わせることもある。もっとできることがある。
- スピーカーを増やして欲しい(二人のスピーカーでは足りない)
- 女子医大に対して、もっと厳しい話が聞けると思った。
- 普段から思っていたが、実践することの大切さを教えて頂きました。  
ありがとうございました。
- 研修に楽しく参加することができ、自分自身を振り返るきっかけとなりました。
- 患者スピーカーの方のファシリテータがとても上手で分かりやすかったです。
- 本日は、このような会に参加させて頂きありがとうございました。  
やさしい穏やかな気持ちになれました。